

# jannovation week を開催

8月1日から8月5日にかけて、有望な日本起業家のグローバル展開を加速させるイベント「jANNOVATION Week (ジャノベーション ウィーク)」をシリコンバレーで開催しました。

期間中にはグローバル企業を輩出してきたインキュベーションセンターやスタンフォード大学の訪問、現地ベンチャー企業とのセッション、シリコンバレー流のプレゼンテーションの指導などが行われました。最終日には、在米メディアやベンチャーキャピタルに対するビジネスプランコンテストを開催し、参加企業33社のうち日本人起業家の企業2社が見事優勝に輝きました。イベントのフィナーレには、「TANABATA 2011 FESTIVAL OF HOPE」と題した東日本大震災のチャリティイベントを開催しました。

日本人起業家の能力の高さをベンチャービジネスの本場シリコンバレーでアピールするとともに、東日本大震災の復興の輪を遠く海外まで広げた「jANNOVATION Week」を紹介します。

## ■ Plug and Play Tech Center 訪問(8/1)

jANNOVATION Week は、世界中から300以上の企業が集まり、当社も入居しているシリコンバレーの中でも規模、クオリティで群を抜いたインキュベーション施設である、Plug and Play Tech Center (プラグ アンド プレイ テック センター) の訪問からスタートしました。

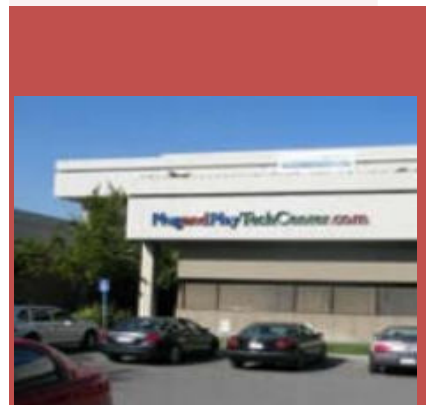
施設内にはここから巣立っていった Google (グーグル) や Paypal (ペイパル) など数多くの有名企業のパネルが飾られており、次の Google を目指す多くの将来有望な企業、人材が熱心に事業に取り組んでいました。

訪問の最後には入居企業である GrowthQ (グロース キュー) 社 CEO のシドニー・ミナシアン氏のプレゼンテーションが行われました。ミナシアン氏はオーストラリア出身で2008年にシリコンバレーに移住しビジネスを展開していますが、ここで起業した理由を「他にはない企業のためのエコシステムが存在していること」と挙げていました。

一方で、「シリコンバレーがいつも青空ばかりとは限らない。起業家にとって最も重要なのは、与えられた環境を最善に活かしつつ、足りないものを補い、困難に打ち勝つマインドを持ち続けることだ」と述べていました。

## 目次

- Plug and Play Tech Center 訪問
- スタンフォード大学訪問
- シリコンバレー日本人起業家によるパネルディスカッション
- シリコンバレーで注目のベンチャー企業訪問
- 起業家の晴れ舞台ピッチコンテスト jANNOVATION Jam
- 東北大震災チャリティイベント TANABATA 2011 - FESTIVAL OF HOPE





### ■ スタンフォード大学訪問(8/2)

イベント 2 日目は数多くの起業家を輩出し、世界屈指の名門校であるスタンフォード大学を訪問し、アジア・米国技術経営研究センターのディレクターであるリチャード・ダッシャー博士と同大学で日本の起業家精神に関するプロジェクトのコアメンバーであるトミー・ブルックス氏のトークセッションが行われました。

ダッシャー博士からは、スタートアップのためのシリコンバレーのエコシステムについて講演がありました。その中で「起業家にとって大切なことは、世界を変えることへの強い欲望をもつことであり、その熱意が企業文化の推進力となる。シリコンバレーの企業文化においてはアイデアを否定するのではなく、それをどう実現するか、障壁をいかに乗り越えるかを重視することが特徴である。」と述べていました。

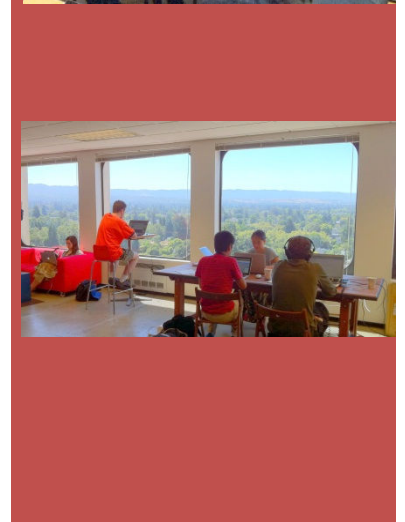
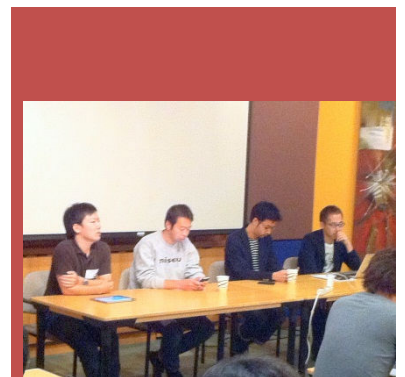
ブルックス氏は自身が日本からシリコンバレーに移住し事業を拡大させた経験をもとに日米を比較し、「日本の大企業は自己完結型で焦りが無い。一方、シリコンバレーは非常に競合が多いためおのずとオープンイノベーションが進むのが特徴」と述べていました。

### ■ シリコンバレー日本人起業家によるパネルディスカッション(8/3)

3 日目はシリコンバレーで起業し活躍する fluxflex (フラックスフレックス) 社 CEO 久保溪氏、Smashbooth (スマッシュブース) 社創業者船木信宏氏、Miselu (ミセル) 社 CEO 吉川欣也氏の 3 名の日本人起業家によるパネルディスカッションが行われ、各人のシリコンバレーでの起業における成功、失敗談、シリコンバレーの魅力などが語られ、ライブ感あふれるセッションとなりました。

この中でシリコンバレーでの起業について、「シリコンバレーにはあらゆるスタンダードがあり、世界が非常に近い。特別な理由がないのであれば、まず来て起業すべき。特にシリコンバレーは起業の本場であり、実際に起業数も多い。その中で一歩先に抜け出すには、確実な結果を出すこと、そして結果を出すためにはできる限り若いうちにチャレンジすることが大事」という意見が出され、最後に「日本人でシリコンバレーに来ている人は少なくないが、成功事例が極めて少ないのが実情。早く自分が世界を変えるという強い意志を持った起業家がシリコンバレーに増えることを望む」と締めくくられました。

パネルディスカッションの後は、インキュベーション施設としての存在感がアメリカのみならず日本でも急速に高まっている 500 Startups (500 スタートアップス) の訪問や、豊富な起業経験を持ち、現在は Facebook (フェイスブック) 社プロダクトマネージャーであるミック・ジョンソン氏の苦節を経てつかんだ成功体験を聞くなど、参加者にとってはこの日も内容の濃い 1 日となりました。



## ■ シリコンバレーで注目のベンチャー企業訪問(8/4)

4 日目は、シリコンバレーで注目のクラウドソリューションベンチャーである Engine Yard (エンジンヤード) 社や日本企業で、シリコンバレーで事業を急拡大させているサイバーエージェントアメリカ社などを訪問しました。

Engine Yard 社は、クラウドソリューションのためのプラットフォームを提供しており、その高い技術力、サービスが評価され Fortune500 企業を含め多くの顧客基盤を持っています。

CEO のジョン・ディロン氏は起業、事業成長のポイントを以下のように述べていました。

「人材こそが最も重要な成功要因であり、シリコンバレーで起業したのもスタンフォード、UC バークレーなど優秀な人材基盤があるからである」

「ビジネス成功の秘訣は以下の 5 点に集約される

(1)Customer Experience: 全体に心血を注ぐ

(2)Minimum & Small start:顧客にとってわかりやすく、必要最低限のサービスから始める

(3)Hire right talent: 必要な人材を最適なタイミングで採用する

(4)Being ready for Change: 変化を良しとする企業文化を創る

(5)Stay focus & solve problem before going to next step: 常にフォーカスし、次に進む前に問題を解決する」

確かな技術、経験豊かな経営陣、優秀で明るい社員からなる Engine Yard は、上記の条件をまさに体現している、素晴らしい企業文化をもつスタートアップでした。

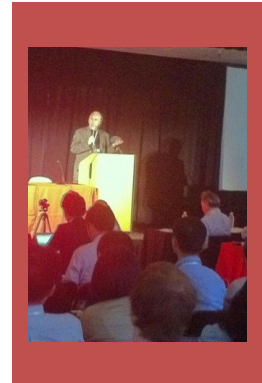


## ■ jANNOVATION Jam(8/5)

最終日の第1部は、現地のメディア、起業家など約350名が集まる中、ビジネスプランのピッチコンテスト jANNOVATION Jam (ジャンノベーション ジャム)を開催しました。

参加は現地のベンチャー企業を含む33社にのぼり、起業予定者から既に投資を受けている者まで多岐に渡る参加者より、モバイルから素材、バイオまで幅広いプランが集まりました。

日本からの参加者はツアーの最中、プランの内容やオーディエンスの巻き込み方など、何度もピッチのトレーニングを重ねてコンテストに臨み、シリコンバレーのベンチャーキャピタリスト約20名の審査員による審査の結果、4社が優勝に輝き、うち半数の2社(mOasis社、Zeptor社)を日本人起業家が占める結果となりました。



### 優勝企業概要

会社名：Luminate (ルミネート)

代表者：Bob Lisbonne

事業内容：画像アプリケーションプラットフォーム

<http://www.crunchbase.com/company/luminate-inc>

会社名：mOasis (モアシス)

代表者：Yohei Iwasaki (日本人起業家)

事業内容：農産物の生産で水を効率的に利用するための設備の開発、提供

<http://www.moasisgel.com/>

会社名：Zeptor (ゼプター)

代表者：Tatsunori Suzuki (日本人起業家)

事業内容：ナノテクノロジーを駆使した次世代バッテリー素材の開発

<http://www.zeptoco.com/>

会社名：Creaza Inc, (クリーザ)

代表者：Jostein Svendsen

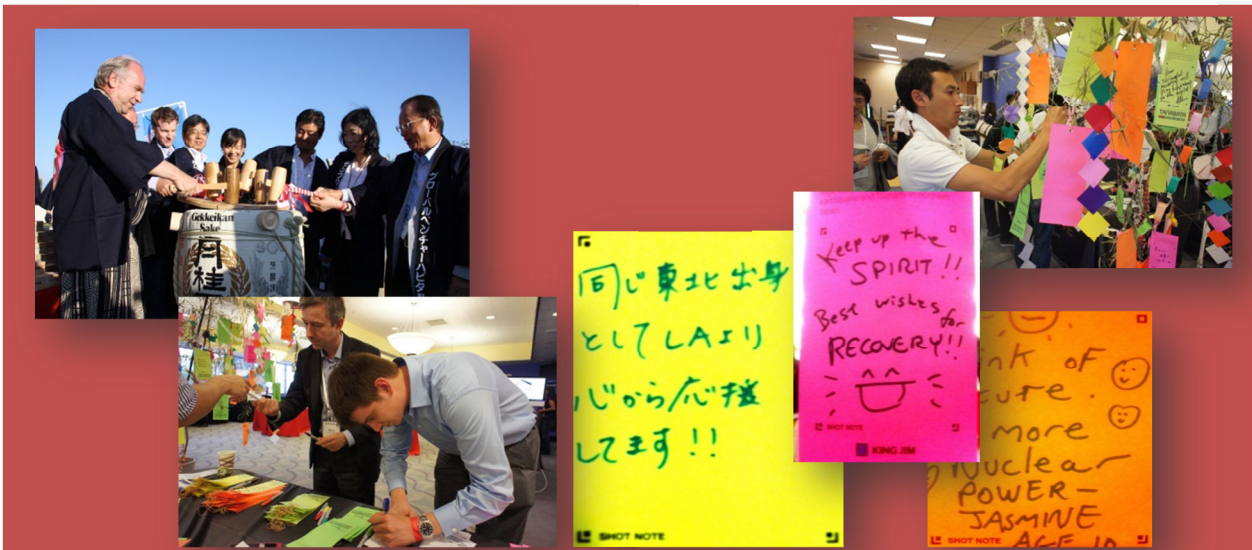
事業内容：オンラインビデオ作成プラットフォーム

<http://www.creaza.com/>

## ■ TANABATA 2011 FESTIVAL OF HOPE (8/5)

イベントのフィナーレには、仙台の七夕と同日の日本時間8月6日に、TANABATA 2011 - FESTIVAL OF HOPE と題した、東日本大震災のチャリティイベントを開催しました。

メインゲストスピーカーとして在サンフランシスコ日本国総領事館総領事の猪俣弘司氏を招き、参加者も前年に開催した際の300名から大きく増え、約500名におよびました。会場には笹が飾られ、そこにはベンチャー企業が自らの成長を願うだけでなく、被災者の方々への応援や復興の願いが込められた短冊が数多く寄せられました。その様子は生中継で仙台に伝えられ、遠くシリコンバレーと日本で、復興へ向けた思いが共有されました。



## ■ 株式会社サンブリッジについて

サンブリッジは、グローバルベンチャーの投資、育成を行う「グローバルベンチャーハビタット事業」と、「企業向けマーケティングソリューション事業」を行っています。これまでの投資育成先には、米 Salesforce.com、マクロミル、オウケイウェイヴ、アイティメディア、アイスタイルなどがあります。

また、将来有望な創業間もないベンチャー企業を発掘し、シードマネーを供給するプラットフォームとしての「Innovation Weekend(イノベーション ウィークエンド)」の定期開催や、シードマネーを供給し、成長支援を行う「サンブリッジ・スタートアップス LLP」の運営をしております。

加えて、日本企業のイノベーションを加速させるため、グローバルレベルで最先端の各分野のプロフェッショナルや優れたソリューションとコラボレーションし、お客様の生涯価値(LTV)の最大化を支援するカスタマエクイティサービスの提供をしております。

サンブリッジについて詳しくは、サンブリッジウェブサイト <http://www.sunbridge.com> をご覧ください。

### <本件に関するお問い合わせ先>

株式会社サンブリッジ PR・広報担当:小笠原  
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-5-5 JR 恵比寿ビル 11F  
TEL: 03-5488-6005(代) FAX: 03-5488-6020 Email: [mktg@sunbridge.com](mailto:mktg@sunbridge.com)

(PR 会社)  
株式会社井之上パブリックリレーションズ サンブリッジ担当:尾上、高野、横田  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-34 新宿御苑前アネックス 2F  
TEL: 03-5269-2301 FAX: 03-5269-2305 Email: [sunbridge@inoue-pr.com](mailto:sunbridge@inoue-pr.com)